

2019年の干支は、己亥

つちのと・い

2019年の干支

字の成り立ち

亥

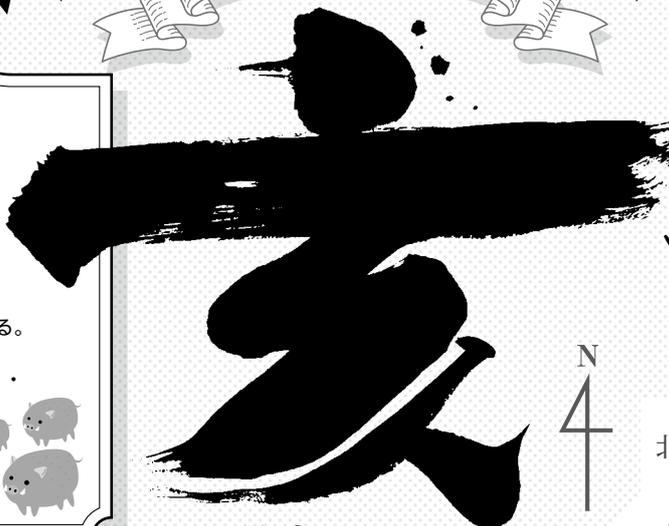
「象形文字」

いのしし・豚の骨格をたてに描いたもの。骨組み、骨組みがでかあがるの意を含む。

☆猪の肉は山鯨（やまくじら）、牡丹（ぼたん）などと言われ、万病を防ぎ無病息災の象徴とされる。

☆縦じまのある子は瓜坊（うりぼう）・瓜子と呼ばれる。

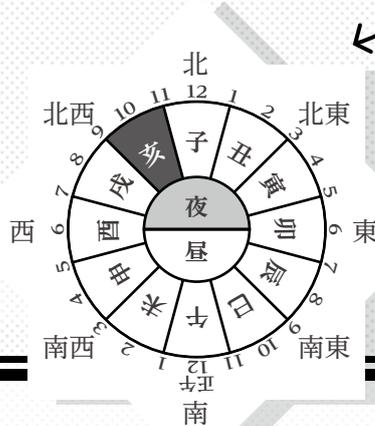
☆亥年は、春に統一地方選、夏に参議院議員選挙が行われる。



己亥（つちのと・い）

意味

十二支の第十二番。時刻では午後十時およびその前後二時間。方角では北北西。動物ではいのししに当てる。



【部首】一(けいさんかんむり/なべぶた) 【字音】ガイ・カイ 【意読】い



漢字

を含む

効

《たるんだものをびんと緊張させる》責めたです。「弾効」

該

《全面にはりめぐらす条件》全体のわくが、ほぼそれにあたる。「該当」

咳

《せきが出てやせて、骨組みがあらわになること》せき。

垓

《大地の極まるさいはての地》さかい。遠い地上の果て。

孩

《赤子の骨組みができて、人らしい形となる》ちのみこ。

駭

《おどろいて心身が緊張する》おどろく。おどろいて全身がすじばる。

骸

むくろ。なさがら。骨組み。「形骸」

核

《木の実のかたいしん》物事の中心。「中核」

刻

《かたい物を刀でごつごつと彫る》さざむ。

亥

猪に関する ことわざ・慣用句

猪突猛进 《猪が猛烈な勢いで突進するように》向う見ずに猛然と突き進む。

猪武者 《いのしむしや》前後の考えもなく、無鉄砲に敵に向かって突進する武者。

遼東の豕 《りょうとうのいのこ》(遼東では珍しい白頭の豚も、河東では珍しくないということから) 世間を知らないため、くだらないものを自慢して得意になる。

豕を抱いて臭気を忘る 自分の欠点や醜さは自分ではなかなか気づかない。

猪も七代目には豕になる 長い年月をかければどのようなものでも変化する。豕は豚。

猪口 《ちよこ》さかずき。

猪口才 《ちよこざい》さしでがましい。なまいき。こりこう。

